

全国学校ギター合奏コンクール2024 審査講評

Web-3番 団体名：札幌光星高等学校クラシックギター部<指揮：佐々木亮>

自由曲 曲名：ギター四重奏のための風のサンバ／松岡滋

審査員名	自由曲
新堀	サンバの表現が欲しい。プライムのみなので、音色、音域の表現が飽きる。しかし、アナリーゼはレベルが高い。頂点へ向かう表現の意識○ 指揮○ ズーンという低音○
堀	<p>冒頭から音色に引き込まれました。曲調・和声に合わせたタッチを選択されているように感じ、とても音楽的です。前奏はしっかりとダイナミクスがついて飽きがきません。後半もテクニカルな所をよく練習してあるように感じられ、大変心地の良い演奏です。</p> <p>Amanecer:2小節を大きな3・3・2のリズムに区切った形が特徴的なのですが、それが明けたA、ダイナミックに転調したCのLargament.(再び大きな3・3・2が復活する)といったあたりの変化に音楽的意味を見出し、演奏にもっと反映されると尚良いかと思います。最後の2小節は、きちんと2小節長さをとりましょう。惜しいです。</p> <p>Salida: a la Sambaとあるあまり、まるでサンバキックが聴こえてくる演奏を目指してください。今のままでも充分上手ですが、全体的にやや前のめりになっていますので、そこを改善し、よりしっかりした“1”(一拍目)を全体で感じられれば、もっともっとグルーブします。</p> <p>指揮:この複雑な曲をよくとりまとめられていたと思います。おそらく基本的な指揮法・バトンテクニックを学ばれば、思い描かれている音世界をもっと解像度高く表現できるのではないかと思います。</p>
柴田	デュナーミクをうまく使い、考えられた演奏になっている。欲を言えば、フォルテの音色がもう少し美しいものであって欲しい。機械的なクレッシェンドになっている。2楽章のパーカッションも程良いバランスだ。2楽章の指揮は打点をはっきりせず、拍も遅れ気味になっているのが残念だ。全体的にはホールの響きもうまく味方につけている。
中島	アナリーゼ良い。技術良い。音色◎ 指揮○ 出だしの静けさと後半の躍動感のコントラストが良い。指揮もとても良い。欲を言えば細かいパッセージがあと少し粒だつて聴こえるともっと鮮やかになる。が、十分に素晴らしい演奏です。

【お問い合わせ】

全国学校ギター合奏コンクール2024 開催事務局(現代ギター社内)

〒171-0044 東京都豊島区千早1-16-14

Tel.03-3530-5341